

令和5年度 第3学年 授業改善プラン

文京区立駕籠町小学校

	児童の実態及び課題	○中心とする単元 ◆カリキュラムデザイン	授業改善に向けての具体的な手立て	◎成果 ●課題
知識・技能	<p>〈理科〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 塾で学んだ知識や思い込みで予想や考察をする児童が多い。生活経験や既習内容から学習問題をつくるのが難しい。 <p>〈体育〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の動きを客観的に捉えることが難しく、基本的な動きや技能の習得に時間がかかる。 	<p>＜理科＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○太陽と地面 ○じしゃく <p>＜社会＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆「わたしたちのくらしと商店の仕事」との関連 <p>＜体育＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○陸上運動 ○器械運動 	<p><u>事象提示の工夫</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 体験を通して感じたことを学級で共有するとともに生活経験を振り返らせながら、学習問題をつくっていくようにすることで、自分の経験と結び付けて考えたり、問題を見いだしたりできるようにする。 <p><u>タブレット端末の活用</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 互いの動きを撮影し、模範の動き比べたときに何が課題なのかを視覚的に理解できるようにする。 	<p>◎共通の体験をすることで、感じたことや気付いたことをスムーズに共有することができ、問題を見いだすことにつなげることができた。</p> <p>◎タブレット端末を活用して、動画で視覚的に自己の動きを捉えたり、蓄積することで変化を捉えたりすることができた。</p> <p>●ねらいに迫る事象となっているか、精選し、提示していく必要がある。</p>
思考力・判断力・表現力等	<p>〈国語〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 叙述を基に登場人物の心情の変化や、性格、情景について具体的に想像することが難しい。 文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことが難しい。 	<p>＜国語＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ちいちゃんのかげおくり ○すがたをかえる大豆 	<p><u>目的意識の向上</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 初読の感想を共有し、児童が感じた疑問について叙述を読み取り、解決できるようにする。 読み取る際には、疑問に感じた箇所にサイドラインを引かせる。 <p><u>文型の提示</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 本文の理由や事例を引用し、それを基に考えを述べるなどの文型を示し当てはめて書くことができるようにする。 	<p>◎感想や考えをもった箇所にサイドラインを引き、その叙述を基に自分の感想をまとめる児童の姿が見られた。</p> <p>◎学んだ文型に当てはめて自分の考えをまとめる学習をを繰り返し、書き方が定着してきた。</p> <p>●登場人物の心情を表現する言葉や、考えを書き表す語彙を増やしていけるように、「言葉の宝箱」も活用して指導を工夫していく。</p>
学びに向かう力・人間性等	<p>〈全教科〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の考えを表現することや、自分のめあてを達成できるよう粘り強く取り組むことが難しい。 	<p>＜国語＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○わたしたちの学校じまん <p>＜総合＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆「ふるさとの宝さがし」「表現発表会」との関連 	<p><u>思考整理の工夫</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 頭の中にある考えをマッピングしたり、分類整理したりするなど思考ツールの活用をすることで、自分の考えを整理し、明確にして表現できるようにする。 互いの考えを伝え合い、他者と比較することで、友達の考えのよさに気付くことができるようにする。 <p><u>振り返りの視点の明示とフィードバック</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 振り返りの視点を示す。また、児童の振り返りに対してフィードバックを行い、めあて達成への道筋を修正しながら取り組んでいけるようにする。 	<p>◎友達の考えのよいところを取り入れ、自分の考えを再構築することができる児童が増えた。</p> <p>◎めあてを立て、ふりかえりをする学習の流れが定着した。ふりかえりの視点を示すことで、ふりかえりの質が上がり、次のめあてにつなげる児童の姿が見られるようになった。</p>